

五木地域における林業の成長産業化に向けたロードマップ(案) (令和4年3月改訂) 資料1-2

重点課題	7つのアクション	これまでの主な成果	令和4年度	令和5年度	令和6年度
3. コストの低減と収益の確保	① 森林情報の共有・活用の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・共通図面の作成・GIS化、毎年度の更新 ・立体図の導入 			
	② 路網整備の戦略的展開	<ul style="list-style-type: none"> ・路網の連結 ・中長期的な路網計画の検討 ・鉄鋼スラグの活用 ・路網設計支援ソフトの活用 			
	③ 原木の生産・流通コストの低減	<ul style="list-style-type: none"> ・民国連携システム販売 ・協調出荷・中間土場の活用 ・タワーヤード現地検討会 ・ドローンによる架線設置 			
	④ 原木の安定供給による収益の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・民・国システム販売によるSCMの構築 ・民・民による協調出荷の実施 			
④ 主伐から造林・保育に係るトータルコストの低減	<ul style="list-style-type: none"> ・特定母樹の活用によるコンテナ苗の生産、導入 ・一貫作業システム現地検討会、普及 ・シカ対策協定締結 				
⑤ 施業技術の開発・実証	<ul style="list-style-type: none"> ・低コスト試験地等の現地検討会開催 				
⑥ 林業事業体の育成、林業従事者の育成・確保	<ul style="list-style-type: none"> ・日報管理の実施 ・事業量・立木販売情報の公表 				